

強度システム設計研究室

材料数理学研究室、強度物性学分野及び金属工学第 4 講座を卒業された皆様にはお変わりなく、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

研究室のスタッフは教授三浦誠司、准教授池田賢一、助教滝沢聡、研究室秘書小林薫さんとなっております。

令和 8 年度は博士課程学生 4 名、修士課程学生 8 名、学部 4 年生 4 名でスタートとなりました。

令和 7 年度も、研究室所属学生のサマーセッション優秀ポスター賞や日本顕微鏡学会 北海道支部学術講演会での講演賞受賞、日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞ならびに応用マテリアル工学コースあらがね賞の受賞など、研究内容や学生のポテンシャルを高く評価いただきました。三浦も日本金属学会より「谷川・ハリス賞」受賞の運びとなり、皆様の御支援に感謝申し上げます。また池田は日本金属学会・軽金属学会・日本顕微鏡学会・日本銅学会等の本部・支部委員の役割もさらに多くなっております。

研究対象も MAX 相セラミックスやアルミニウム合金、ハイエントロピー合金など多岐にわたり、また実験的研究から、微小その場観察力学試験やめっきプロセス、機械学習による合金設計も視野に入れた共同研究へと、広さ深さも追求しております。三浦は 2028 年 3 月に退職いたしますが、その後の 3 年間も北大で研究活動に従事する見込みです。

いろいろな情報をアップデートしておりますので、研究室の HP にも是非お立ち寄り下さい(<https://www.eng.hokudai.ac.jp/labo/lmsm/>)。また、北大の卒業生メールアドレスが廃止となりましたので、OBOG 会のためのメールアドレス整備として、研究室スタッフ宛のメールアドレス (contact-lmsm☆eng.hokudai.ac.jp ☆を@に変更してください) まで、随時御一報頂けますと幸いです。

皆様の益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

